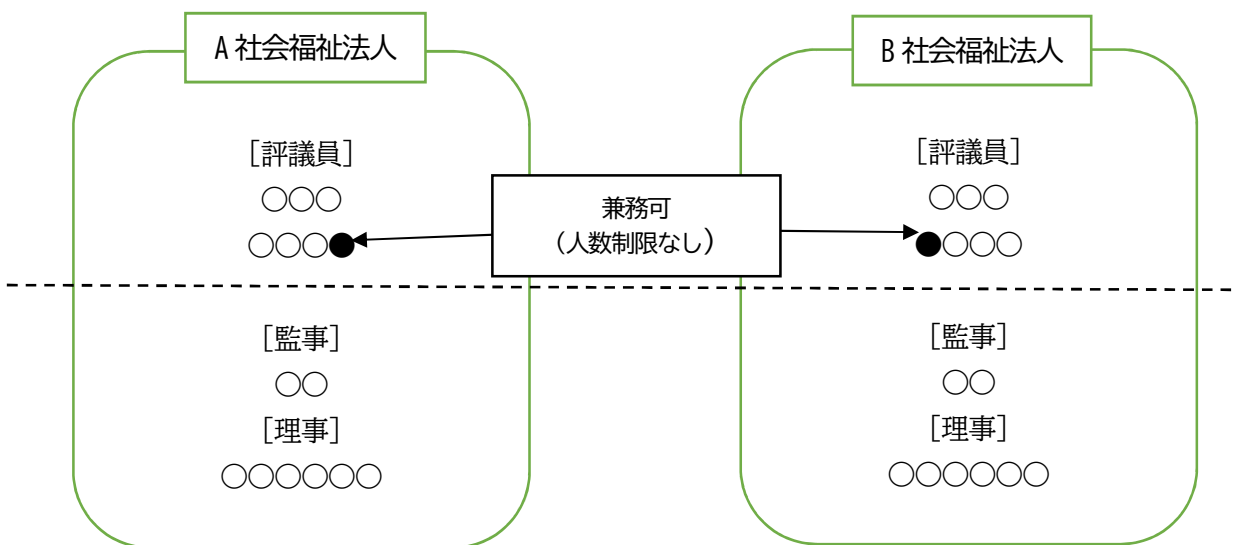
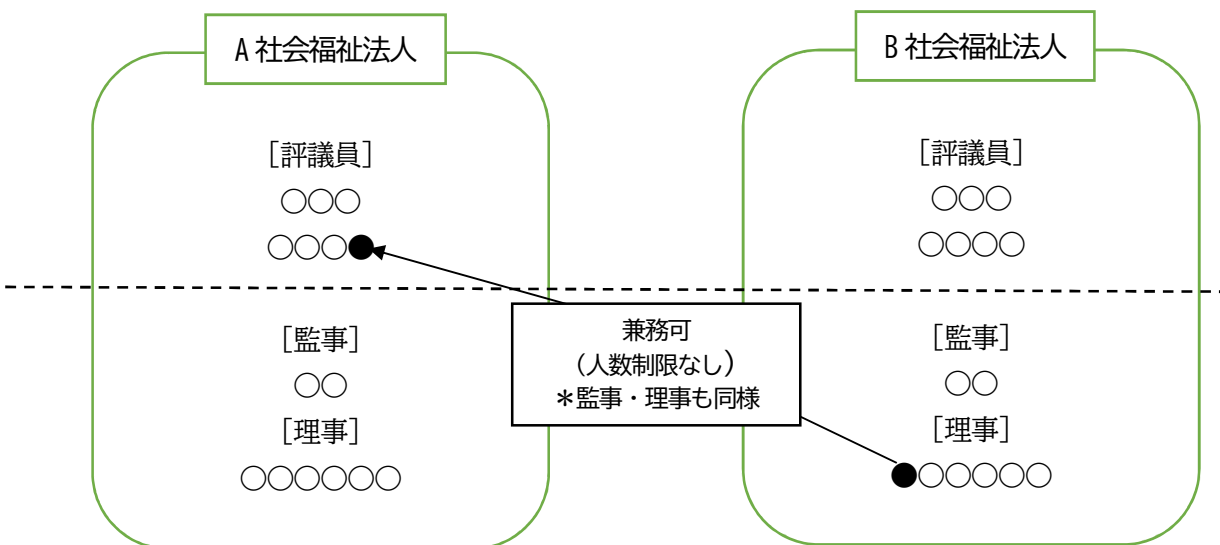


## 評議員における特殊関係者

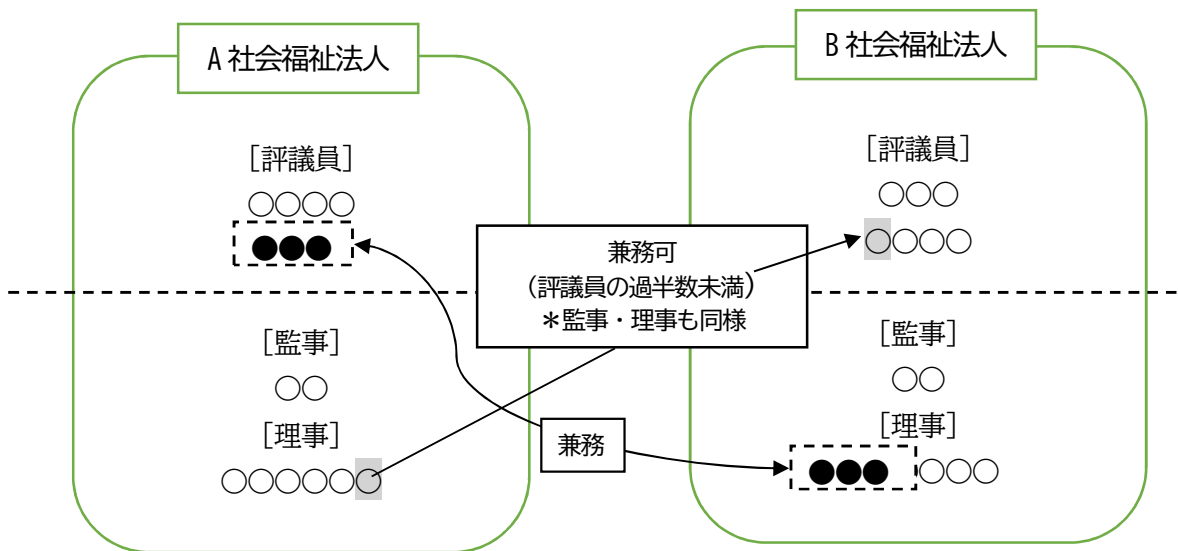
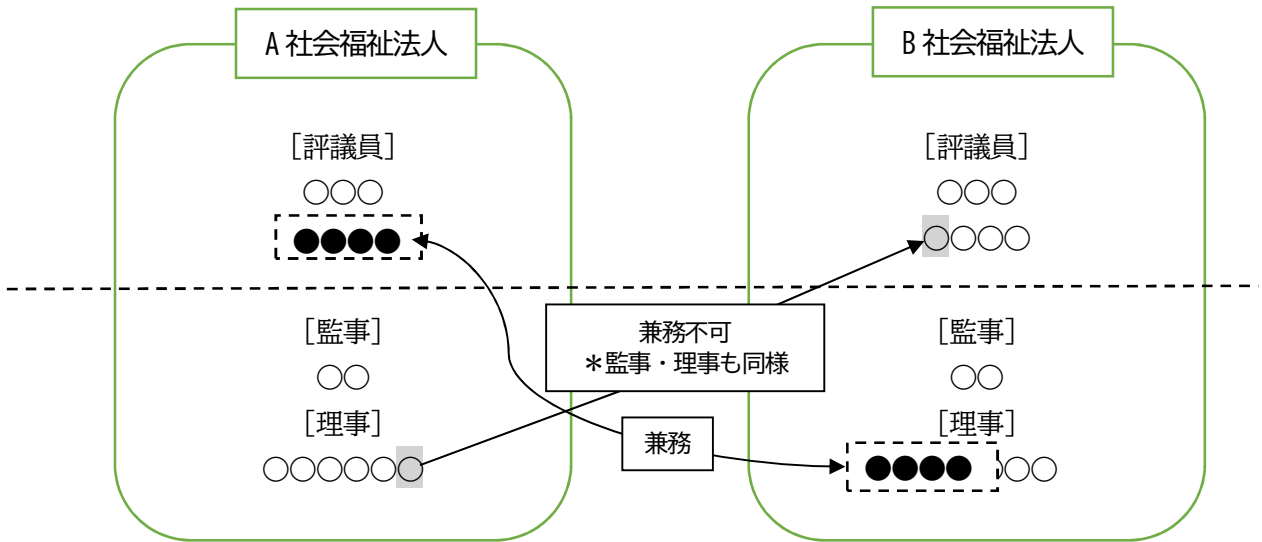
1 A社会福祉法人の評議員に、B社会福祉法人の評議員が就任する場合



2 A社会福祉法人の評議員に、B社会福祉法人の役員や職員が就任する場合



3 牽制関係を適正に働かせる観点から、A社会福祉法人の評議員の過半数をB社会福祉法人の役員が占める場合においては、A社会福祉法人の役員又は職員がB社会福祉法人となることはできない。



- 4 A社会福祉法人の評議員に、社会福祉法人でないB法人の役員又は職員が就任する場合  
A社会福祉法人の評議員とB法人の役員又は職員を兼務している者が、A法人の評議員総数の3分の1を超えて含まれてはならない。

